



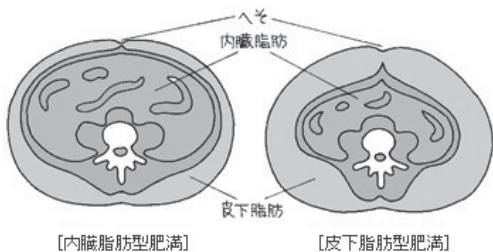
“内臓脂肪CT”

北病院 診療放射線技師
中村 伸幸

内臓脂肪型肥満によって糖尿病や高脂血症、高血圧などの生活習慣病が引き起こされやすくなった状態のことを『メタボリックシンドローム』というのは、もうすでにみなさんご存知かと思います。

内臓脂肪の量を推定するために腹囲を測ることが多いですが、北病院ではCTスキャンによって内臓脂肪の量を正確に測定することが可能です。

皮下脂肪と内臓脂肪の両者を分けて、各々別々に測定することが出来ます。



ぽっこりお腹の方は、一度測定してみることをお勧めします。